

行政

- ・市民の安全の確保
- ・人命救助
- ・市有施設の安全確保
- ・災害関連情報の収集、発信

市長
副市長
・避難情報の発令

危機管理監

危機管理防災本部

原子力安全対策室

福祉保健部

土木部

農林水産部

消防本部

その他の部局

避難所対応職員

・避難情報の伝達

- ・気象、被害情報収集
- ・災害対策本部の設置

- ・原子力災害への対応

- ・要配慮者への対応

- ・道路、河川等のパトロール
- ・交通規制等の緊急措置

- ・農地、農業施設等の被害状況把握、応急対策

- ・救急、救助活動
- ・火災警戒、消火活動

- ・ライフライン、交通機関の状況把握
- ・市有施設の利用者安全確保、被害状況把握、緊急措置

- ・指定緊急避難場所（指定避難所）の開設
- ・避難者の受入れ

地域

- ・「自らの命は自らが守る」避難行動
- ・地域に精通した住民同士の助け合い

自主防災会・町内会 民生委員・児童委員

消防団

・避難情報の伝達

通報

地域の経験則に基づく危険の発見等

情報提供

地域住民

(避難情報発令前)
〈任意〉

地区公民館等
への自主避難

危険な場所から
避難

・避難行動要支援者の
支援

避難行動

親戚・知人宅等
の安全な場所

自宅内
安全な場合や移動
に危険が伴うとき

市が開設
指定緊急避難場所
(地震時は、指定避難所)

開設・運営への参加

全市民が防災要員

～助けあいみんなの命を守りましょう～

隣近所で助けあい早めの避難

災害の発生直後は、市や消防などの活動まで一定の時間を要します。
いざというときに、真っ先に駆けつけて助け合うことができるのは、向こう三軒両隣といわれる近所の方です。
日頃から、ハザードマップなどで地域の災害危険性について話合うなど、隣近所とのコミュニケーションや町内会、自主防災会の活動に積極的に取り組みましょう。

特に、市が避難情報を発令する前(緊急避難場所の開設前)から不安を抱える高齢者等には、声をかけ、早めの避難を心がけましょう。

2階への避難が安全な場合があります

ひざ付近まで浸水したとき、あるいは高齢者や障害者など、短時間で移動が困難な方については、屋外への移動がかえって危険を伴います。

移動を最小限に抑え、自宅の上層階など垂直方向への避難の方が安全な場合があります。

みんなで協力 避難所運営

避難所運営は、避難者自身である住民が、施設管理者(学校関係者等)、市職員と協働で行います。

新型コロナウイルス感染症の対策(パーティションの組立や施設内の消毒など)や物資の配布、要配慮者への支援など、年齢・性別の垣根を作らず、沢山のコミュニケーションをとって、円滑な避難所運営を目指しましょう。